

1 美術館の利用の承認等に関する業務

● 来館者数の動向

第3四半期の来館者数は、過去5年の同期比で平成26年度に次いで2番目に少なかった。10月と12月の来館者数については、過去5年の同月来館者数の平均並みであるが、11月の観覧者数が例年同月と比べて大幅に減少した。

2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務

● 施設・設備の維持管理

- ・通常の設備機器点検を行い、設備の管理を的確に実施した。
- ・環境調査を行い、展示室・ウォールケース内の適正な状態を維持するよう努めた。
- ・市実施の映像コーナーの静止画番組再生機器システム更新修繕が円滑に行われるよう立会いに協力した。
- ・恒温恒湿機用加湿器にエラーが発生した際、迅速な対応を行った。
- ・女子トイレ便器内の水がビスの錆が原因で変色した際、迅速な清掃対応を行い施設の環境維持に努めた。

● 施設の運営

- ・施設案内パンフレット、年間展示案内カレンダーを作成し、施設の周知に努めた。
- ・窓口における受付、施設案内等を適切に行った。
- ・ツイッター等のSNSを活用し、美術館の宣伝強化に努めた。

3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務

● 展示・その他事業

- ・事業計画どおり、企画展・特別展及び普及事業を開催した。
- ・各展覧会とも展示解説を実施し、参加者は201人だった。
- ・開架図書コーナーでの図書閲覧者は478人だった。
- ・初心者向けに日本画ワークショップを2回実施し、清方作品を鑑賞するとともに絵を描く楽しさを実感できる機会を設けた。
- ・日本画家を招き、日本画の制作現場を自由に見ることができる「日本画制作実演」を実施した。
- ・美術講演会を開催し、清方作品を通して絵画から見えてくる文化や感性などについて学ぶ貴重な機会を設けた。

● その他必要な業務

- ・葉祥明美術館との相互割引や近隣文化施設（神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、川喜多映画記念館）とのスタンプラリーを実施するなど、他館との連携に努め美術館のPRを行った。
- ・社会貢献活動として、大学院生のインターン1名、中学生のインターンシップ4名の受け入れを行った。

4 鎗木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務

● 収集・保管

- ・作品等の保管状況や展示状況の確認を10月6日、11月4日、12月8日に行った。結果はいずれも良好であった。
- ・事業計画どおり、作品の修復を実施した。

● 調査・研究

- ・日本画壇における南画の調査、『續こしかたの記』記載事項に関する調査、鑑賞ワークシートの実例調査、着物の文様に関する調査、清方が舞台装置を担当した歌舞伎座の公演に関する調査、明治・大正の女性雑誌の口絵に関する資料の調査、清方作品における年末年始の行事に関する調査、子ども向けアートイベントの実例調査等

5 その他市長が定める業務等

● 事務処理

- ・例月の指定管理業務報告書等は期日までに提出されている(10月分:11月9日、11月分:12月14日、12月分:1月13日提出)。
- ・展示替えに伴うホームページの情報更新が適切に行われていた。
- ・市広報に展覧会や日本画ワークショップ、美術講演会等の情報を掲載し、市民への周知を行った。
- ・モニター広告を利用し、市役所本庁舎にきた市民等に展覧会内容を周知した。

● 事故・苦情対応

- ・事故や苦情はなし。

● その他

- ・文化庁補助金を活用し、北鎌倉から鎌倉の文化施設等をを紹介する周遊型観光ウェブサイトの製作、ホームページの英語版製作、文化施設利用の国内外観光客の動向調査結果の取りまとめ及び検討を実施した。
- ・神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、川喜多映画記念館と実施している4館連携スタンプラリー5周年を記念し、「ミュージアム×建築めぐりのススメ」を4館協働で開催した。
- ・鎌倉芸術祭の企画「鏡花語り 清方描く」及びNPO法人横浜金沢文化協会主催「鎗木清方ゆかりの地を辿る」に参加し、清方と清方作品について広く紹介した。

6 全体評価

- ・第3四半期の来館者数は、過去5年間の同期比で平成26年度に次いで2番目に少なかった。前年同期は、テレビ番組で清方作品が紹介された反響と神奈川県立近代美術館 鎌倉館閉館に伴う急激な来館者増加の影響を受けて著しく来館者が増加していたが、外部的要因がなくなった今、自助努力により、いかに来館者を確保するかが問われている。来館者確保策として、文化庁補助金を活用し、外国人観光客を取り込むべく英語版ホームページの製作や観光客の観光ルートを探るなど検討を進めている他、北鎌倉から鎌倉を周遊する観光ルートを紹介するウェブサイトの製作を行っており、新たな来館者獲得に向けて努力している点は評価できる。また、神奈川県立近代美術館 鎌倉別館、鎌倉国宝館、川喜多映画記念館と連携したイベントを初めて実施するなど、小規模館同士で集客方法を検討している姿勢も評価に値するので、今後の来館者数増に繋げていかれたい。
- ・施設の維持管理業務に関しては、日常点検を始め、各種定期点検を計画的に実施している。市への報告も徹底されており、適切な対応が取れている。また、定期的な清掃・庭園整備だけでなく、日々職員が清掃や剪定作業を行い良好な環境づくりに努めている姿勢は評価できる。

評価項目	判定点	第3四半期 評価結果	減点
1 利用の承認等に関する業務			
来館者数の動向			
入館者数が前指定期間の同四半期の平均値と比較して80%以上の水準にあるか(不可抗力を原因とするものを除く)	5	○	
特別利用			
作品に悪影響が出ないような適正な承認を行っているか	10	○	
2 美術館の施設及び設備の維持管理並びに運営に関する業務			
施設・設備の維持管理			
定められた点検が実施されているか	5	○	
不具合箇所を放置せず、必要に応じて修繕を実施しているか	5	○	
庭園、進入路などの手入れはきちんとされているか	5	○	
施設の運営			
館及び展覧会の周知が積極的に図られているか	5	○	
3 美術館の事業の企画及び実施に関する業務			
展示			
計画どおりに展覧会が開催されているか	10	○	
その他必要な業務			
展示以外の自主事業は適正に実施されているか	5	○	
来館者ニーズの把握・反映につとめているか	5	○	
4 鍋木美術品等の収集、修復、調査研究等に関する業務			
美術品等の維持管理			
美術品の所在は確認されているか	3	○	
温湿度管理など、美術品が適切に取り扱われているか	5	○	
調査・研究			
計画どおり調査・研究が進められているか	5	○	
出版物の管理・保管は適切に行われているか	3	○	
5 その他市長が定める業務等			
事務処理			
決められた期日までに報告書は提出されているか	5	○	
市との連絡調整はきちんとされているか	5	○	
市と協議を行った事項は確実に実施されているか	5	○	
固有の銀行口座で適正な会計処理を行っているか	10	○	
苦情対応			
来館者や近隣との間のトラブルに適正な対処をしているか	5	○	
苦情・要望への迅速な処理、市への報告はされているか	5	○	
その他			
研修等自己啓発の努力がされているか	3	○	
災害時の対応ができるよう、準備はされているか	3	○	
個人情報情報は適切に管理されているか	10	○	
減点の計			0

実施されている場合・・・○ 実施されていない場合・・・×

減額率

減点の合計	減額率
10～15	5%
16～20	10%
21～	20%